

12月9日 Presentation2 Group2

2つのグループから、これまでの講義で学んだ成果をまとめたプレゼンテーションが行われました。まずは Carl さんによる発表が行われ、次いで Namwinyan さんによるプレゼンテーションが発表されました。

まずは国際協力におけるトレンドの変遷を概観し、SDG4のフレームワーク等について触れられました。次いで日本の教育システムや、ICT化などの直面する課題について、COVID-19との関係性を踏まえながら説明しました。日本では伝統的な黒板・教科書などの教具からICT機器への刷新を図っていましたが、コロナウイルスの影響でさらにオンライン授業において進展が見られました。次に、政策やプログラムの評価(Evaluation)について説明がされました。評価は、プログラムの価値や重要性などを総合的に審査し、アウトカムの評価を下すためのプロセスです。とりわけ Mandatory evaluation という、大学や小学校などが自らの機関についての自己評価を行う方法と、指標設定の困難さや予算の制限などの課題が紹介されました。続いて国際協力分野で広く用いられるプロジェクトの説明が行われました。プロジェクトとは、ある特定の目的を達成するために、特定の期間や目標を設定して行われる活動のことを指します。問題設定から施策選定まで、Cause-Effect, Means-End, If-then などのロジックを駆使して論理的に導き出すことが求められるということが説明されました。

プレゼンテーションの後には、吉田先生から研修員に向けて「このプレゼンテーションだけで学びを終えず、JICA研修での学びをこれからの母国での活動に活かして欲しい」という旨のコメントがありました。



COUNTRY PAPERS

Lesotho (1), Pakistan (1), Burkina Faso (2) and Ghana (1) are the country representatives in my group for the country paper presentations. We are five in number, 4 males and 1 female (Lesotho).

The presentation was to provide other members of the group information on the country's socio-economic situation, education sector, key issues in the education sector and interventions put in place to address these issues.

The education system of the countries in my group are similar; all countries have KGs, primary, lower & upper secondary and tertiary (high) education.

There is also a provision for drop-out students. In the case of Ghana we have a non-formal education system for such groups. I learnt from our group discussions, Egypt provides theirs through their formal system.

Interesting to me was the case in Lesotho where boys accounted for the most drop-out as it is different in most countries. In Ghana we have boys dropping out of school but not as high as that of the girls.